

[2016年9月12日にテラデータ・コーポレーションより発表されたプレスリリースの抄訳です]

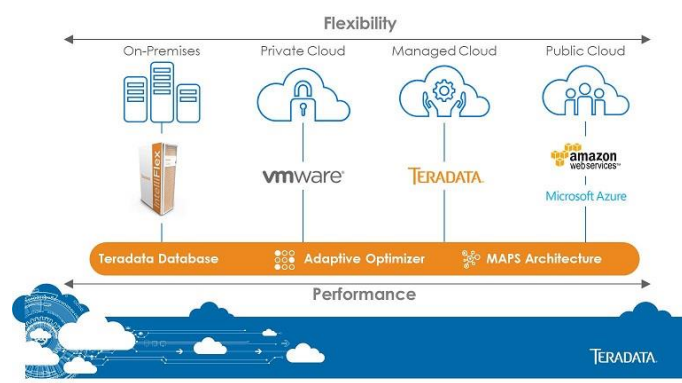
2016年10月6日
日本テラデータ株式会社

テラデータ、世界で最も強力な分析データベースをどこでも利用できる 「Teradata Everywhere」を発表

Teradata データベース導入の選択肢を拡大：Amazon Web Services、Microsoft Azure、Teradata マネージド・クラウド、VMware®、Teradata IntelliFlex™の柔軟な組み合わせが可能に

TERADATA PARTNERS CONFERENCE、米国ジョージア州アトランタ発 — テラデータ・コーポレーション (NYSE: TDC、以下テラデータ) は、業界初の複数プラットフォームに導入可能な、世界で最も強力な超並列処理 (MPP) 分析データベース「Teradata Everywhere™」を発表しました。これにより、Amazon Web Services、Microsoft Azure といった複数のパブリック・クラウドをはじめ、Teradata マネージド・クラウド、プライベート・クラウドの VMware® 仮想化ソフトウェア、またオンプレミスの Teradata IntelliFlex™ のプラットフォーム上で、Teradata の超並列処理分析データベースの利用が可能になります。「Teradata Everywhere」は、異なる環境間にある Teradata のデータベースを、ハイブリッドなアーキテクチャ上で共有可能にし、企業の変化するプラットフォーム導入戦略や経済的ニーズに対応します。

テラデータは、これらの導入オプションすべてにおいて最適なパフォーマンスと柔軟性を提供し、Teradata データベースの中核的機能を強化しています。最新の「Teradata Database MAPS アーキテクチャ」は、企業のビジネス・ニーズの変化に伴い、Teradata データウェアハウスをシームレスに拡大または縮小できる柔軟性を提供し、同時並行性と戦術的クエリーのパフォーマンスの安定性を向上させます。さらに、「Teradata Database Adaptive Optimizer」は、そのホスト環境に自動的に適応し、最高レベルのクエリー・プラン生成効率、クエリー実行、システム利用の効率性を高めます。



「Teradata Everywhere」は、全世界でご利用頂けます。

Teradata Database on Amazon Web Services

Teradata データベースは、グローバルではすでに 10 以上の国・地域の AWS Marketplace から提供されていますが、今回新たに超並列処理構成（MPP 構成）でも最大 32 ノードまで拡張して利用することが可能になりました。Teradata Database on AWS の最新版では、パフォーマンス、信頼性、利便性を強化し、ノード障害からの自動回復機能（Amazon Simple Storage Service（S3）でのデータのバックアップ、リストア、クエリーの実行）、ソフトウェア・エコシステム開始テンプレート（AWS CloudFormation）を介したワンクリック・デプロイ自動化などの機能が利用可能です。「Teradata Database on AWS」は、AWS GovCloud（米国）、南米、中国を除くすべての国・地域でご利用いただけます。

Teradata Database on Microsoft Azure

今回初めて Microsoft Azure Marketplace から Teradata データベースの提供を開始します。お客様は、オンデマンドかつ従量課金制で Teradata データベースの全ての機能を利用することが可能になります。「Teradata Database on Azure」では、データベースの全機能と最大 32 ノードまでの拡張可能な超並列処理構成（MPP 構成）を提供します。2016 年第 4 四半期から、グローバル（但し、米国政府向けアイオワ州とバージニア州、インド西部、中国を除く）で提供を予定しています。

欧州（ドイツ）での「Teradata マネージド・クラウド」

この度、欧州「Teradata マネージド・クラウド」から Teradata データベースの提供を開始しました。米国内データセンターからのサービス提供に加え、ドイツのデータ・センター・インフラストラクチャ上にホスティングした Teradata データベースを欧州で利用可能です。Teradata マネージド・クラウドは、テラデータのエキスパートによって監視・監督されるため、お客様は、IT インフラストラクチャ管理の煩わしさから解放され、分析やビジネス・インサイトの獲得に集中できます。2016 年第 3 四半期より欧州で提供しています。

Teradata Database on VMware

Teradata Virtual Machine Edition (TVME) は、あらゆる企業の VMware 環境において、設定済みの実行可能な仮想マシン・イメージ上で Teradata データベースの全機能を提供します。既存の仮想化インフラを利用し、最大 32 の仮想ノード上で Teradata データウェアハウスを導入することができます。TVME のライセンス規約により、要件の変化に応じて構成規模を柔軟に拡大または縮小することができます。さらに、テストや開発などの目的で複数のインスタンスを使用することも可能です。2016 年第 3 四半期からの提供を予定しています。

Teradata Database on IntelliFlex™

Teradata データベースは、次世代 IntelliFlex プラットフォームの全ての機能すなわち、処理能力とストレージ容量の独立拡張、高度なインメモリー・コンピューティング、システム拡張時のダウンタイムの削減を利用可能です。また、以下の新しい強化機能が追加される予定です。

- パフォーマンスが2倍に向上（キャビネット当たりの最大ノード数 12）
- メモリーが2倍に増量（ノード当たりの最大メモリー容量 1TB）
- 全 SSD（ソリッド・ステート・ドライブ）構成により、クエリーの応答性が最大限に向上

IntelliFlex（既に提供済み）の新機能は、2016 年第 4 四半期からの提供を予定しています。

Teradata Database MAPS アーキテクチャ

これは、分析エコシステム全体におけるデータの高可用性を実現します。MAPS は、オンライン再構成をテーブル単位で実行し、最も都合のよいタイミングでテーブルを再分散することができるため、システム拡張直後のデータ再分散の時間が不要になります。MAPS は以下を実現します。

- システム拡張時のダウンタイムを最大 90%削減
- Teradata データベース・システムの拡張／縮小可能なクラウドの柔軟性
- 戦術的クエリーのパフォーマンスの安定性向上と、クエリーの同時並行性向上

2017 年第 2 四半期からの提供を予定しています。

Teradata Database Adaptive Optimizer

これまでお客様やアナリストに長い間活用いただいている、クエリーの実行プランを最適化する

「Teradata Database Adaptive Optimizer」は、2017 年第 2 四半期より、インストリーム・クエリー再計画機能を装備し、機能が強化される予定です。これは、予測結果と実際の結果を比較することでクエリー実行中にクエリー・ステップを修正する機能です。新しいプラットフォームに固有のコスト計算機能を、ホスト・プラットフォームが認識して適応することで、「Teradata Everywhere」は、最適化されたプラットフォーム固有のパフォーマンスを提供します。

「Teradata Everywhere」は、「Teradata Borderless Analytics」と連携し、企業のビジネスの変革および新たなビジネス・モデル構築をサポートします。今回発表された「Teradata Everywhere」のさまざまな強化機能は、2016 年第 3 四半期から 2017 年第 2 四半期にかけての提供を予定しています。

以上

本プレスリリースの原文は [Teradata News Room](#) をご参照ください。

###

◆ Teradata Corporation について

テラデータ・コーポレーションは、顧客企業がデータ活用から、競合他社よりもより多くの価値を引き出すことを支援しています。テラデータのビッグデータ分析ソリューションや各種サービスの先進的なポートフォリオは、顧客企業にデータ活用から持続可能な競合優位性を提供します。

<http://www.teradata.com/>

◆ 日本テラデータについて

日本テラデータ株式会社は、テラデータ・コーポレーションの日本法人です。統合データウェアハウス、ビッグデータ分析ソリューションおよびこれらの活動を支援するコンサルティング、構築支援、教育、メンテナンスサポートなど各種サービスを提供しています。

* Teradata は、米国テラデータ・コーポレーションの米国およびその他各国における商標または登録商標です。